

「巨大地震」に備えよう！

策について特集し、住民の皆様と共に「南海トラフ巨大地震」への備えを新たにしたいと

美波町の 津波想定と被害想定

① 揺れの大きさは

大部分が震度6強で、日和佐・由岐の沿岸部では震度7が想定される箇所もあります。

② 最大の津波高は

- 阿部地区…20・9m（徳島県最大値）。
- 日和佐港…約10mで、津波影響開始時間（プラス20cm）は港入口で約10分。
- 由岐港…約12mで、津波影響開始時間（プラス20cm）は港入口で約12分。

③ 被害想定は

建物全壊・焼失棟数は、3300棟。
死者数は、2400人（冬深夜）。
負傷者数は、580人（冬深夜）。

*令和6年度に新想定公表予定

- 震度6弱…立っていることが困難。
- 震度6強…這わないと動けない。
- 震度7…耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが多くなる。



どうへ逃げるの

まずは、高い所へ逃げてください。
美波町には、192カ所の指定緊急避難場所があります。現状については消防防災課（☎77-3619）か地域の自主防災会で確認してください。また、スマートフォンでは、美波防災ナビから確認できます。
美波防災ナビは下のQRコードからインストールできます。



美波町役場 HP

＼もしもの時に備えよう！

防災対策

「南海トラフ」

「令和6年能登半島地震」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
美波町議会広報特別委員会ではこの震災を教訓に、「南海トラフ巨大地震」の状況や対
考えています。

食料はズルンたるの

美波町は、徳島県の備蓄方針に基づき、水・食料を中心に支援物資が届くまでの備蓄を確保
しています。

家庭・地域の備蓄

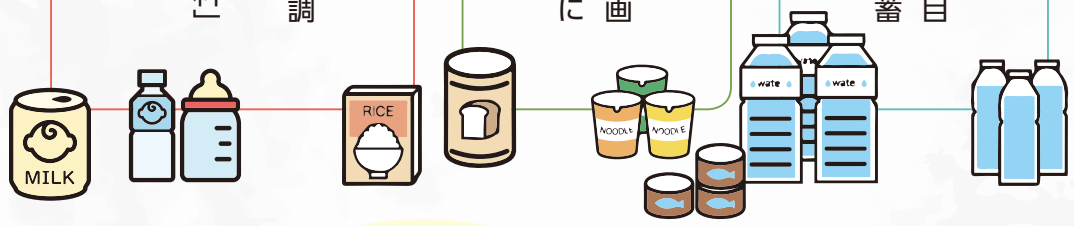
最低でも3日分を家庭や地域の備蓄目
標とします。地元の自主防災会で備蓄
状況を確認してください。

町の備蓄

被災者の1日分を備蓄目標として計画
的な備蓄に努め、発災後2日目までに
提供できる体制を整備します。

県の備蓄

発災後3日目までに1日分の物資の調
達を図ります。
「アレルギー対応の粉ミルクや食料」
を3日分備蓄。
さらに一定量を現物備蓄します。



前野消防防災課長

震災への想い

能登半島地震の対応を注視し、改めて
初動対応の大切さを認識した。美波町も、
「南海トラフ巨大地震」の発生が懸念さ
れる。この震災を精査、検証し災害への
あらゆる備えに取り組み、皆様に安心・
安全な防災対策を進めたい。

美波町の備蓄

(R5年度現在)

- 食料 12,134 食。
- 飲料水（ペットボトル2ℓ）5,052 本。
- 他の飲料水…耐震性貯水槽を日和佐小学校と由岐支所前に設置。また、由岐坂等の上水道配水タンクから給水できます。
- 他の備蓄品…トイレ用品（簡易トイレ、便袋、トイレットペーパー等）、段ボールベット、間仕切り、毛布、マスク、ブルーシート、投光器、非常用発電機等を備蓄しています。

